

保健体育科指導における初任教師の力量形成

発表者 下山田克也
指導教員 吉野 聡

キーワード：学び続ける教師、実践的指導力、教科指導力

1. 緒言

中央教育審議会答申において、これからの教員に求められる資質能力として、(i) 教職に対する責任感、探究力、教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力、(ii) 専門職としての高度な知識・技能、(iii) 総合的な人間力の3点が整理されるとともに、教職生活全体を通じて資質能力向上を図る「学び続ける教師像」確立の重要性が報告されている。

教師の発達段階について吉崎(1998)は、教職3年目ぐらいまでが初任期、5年目から15年目ぐらいまでが中堅期であり、中堅教師は「一人前」の教師であると述べている。また教職4年目を初任期から中堅期への移行期と捉えるとともに、教師は初めの3年間で一応の授業力量を形成できると述べ、初任期の重要性について指摘している。

加えて、近年では、子どもの体力・運動能力の低下や運動する子としない子の二極化、肥満の増加、生活習慣病の低年齢化など子どもの健康に関する問題が危惧されており、学校における保健体育科指導の重要性についても指摘されている。教師には教職生活全体を通しての資質能力向上や実践的指導力の習得が求められているが、現状を踏まえると、より早い段階での力量形成及び充実した教科指導が求められると考える。保健体育科における初任教師の効率的な教科指導力向上の手がかりを探るためにも、一応の力を身に付けた保健体育科教師の力量形成の変容及びそれらに影響を与える要因を明らかにする必要がある。

そこで本研究では、教職3年目から4年目の保健体育科教師へのインタビュー調査を通じて、初任期における保健体育科の教科指導力の変容とそれらに影響を及ぼす要因について明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

2-1 調査対象

吉崎(1998)の枠組みから、教師としての一応の力を身に付けたと考えられ、かつ中堅期に含まれない教職歴3年目から4年目の中学校及び高等学校保健体育教師3名を研究の対象とした。

2-2 インタビュー内容の設定

インタビューは半構造化面接法を採用し、内容として(1)属性及び特性、(2)教科指導力の変容、(3)教科指導力の変容に影響を及ぼした要因、の3点を設定した。(1)については年齢、性別、教職歴、校種、担当する校務分掌、担当する部活動、所属校の特徴、エフォートを、(2)、(3)については、保健及び体育授業の具体的実践について想起させる中で教科指導力の変容及びそれらに影響を与えた要因について回答を求めた。

2-3 データ収集

インタビューは2016年1月上旬から中旬にかけて実施し、各対象者への電話面接によってデータ

を収集した。調査は事前に作成した質問内容を記した記録シートを基に実施し、発話内容はインタビューアーが随時記録シートへ記録した。調査は各対象者1回ずつ行い、要した時間は1人当たり平均43分27秒、得られた対象者の発話データは平均2373字であった。

2-4 データ分析

得られたデータはSCAT法(大谷, 2007)により分析を行った。データは、授業についての教師の知識領域(吉崎, 1988)及び力量形成の契機とその関係構造(稲垣ら, 1988)を参考に、教科指導力の変容及び影響を与えた要因に関連していると考えられる発言を抽出し、意味のまとまり毎に切片化、コーディング、カテゴリー化を行った。

3. 結果と考察

以下結果を示す際は、<>はコーディングを示し、対象者(T)らの発言は斜体で示すこととする。また、対象者の発言はコーディング及びカテゴリー化の根拠となるものの抜粋である。

3-1 教科指導力の変容

3-1-1 保健科における変容

保健科指導で身に付けた力量は、①<興味関心を引く指導方略(教材・教具・発問)>②<理解を促進させる説明力>③<健康に関する教科内容・教授内容知識>の3点に整理した。

T1: 今日の内容に関係あるクイズみたいな導入を…

子どもの実態がわかっているから、こう聞いかければこう答えてくれるだろうとか、実態に応じた発問はできるようになったと思います。

T2: ジョハリの窓のアプリがあってICTを使って授業を進めました。生徒主体で食いつきもよかった

T3: あっばくんで胸背圧迫の練習をしました。それが一番よくやっていたし、テストもできましたね。特に常総の大雨の後だったので、写真とか見せたりしながら人命救助につなげていって…

以上を、生徒の興味を引き能動的な学習及び主体的思考を促す教材選択の力量、指導内容に応じてICTや体験的教具といった生徒の興味関心を引く教具を活用する力量、実態を踏まえ生徒が食いつくような発問をする力量と捉え、①<興味関心を引く指導方略(教材・教具・発問)>と整理した。

T1: 話のつながりとか順序とか、話をするのが前よりはうまくなったのかなと思います。

T3: わかってほしい言葉があったとしたら、最初から説明するんじゃなくて、違うものから説明をします。

以上を、話のつながりや順序を意識し例示等を用いた生徒の思考や理解を促す論理的説明の力量と捉え、②<理解を促進させる説明力>と整理した。

T1: 保健の教科書の内容の知識がつかえましたね。

T3: 2年生で環境の単元があったんですけど、普通にいったらつまらないところだと思うので、川にいっぱいゴミがあると教えるために、川に桃が流れている写真見せて「ごみだったら嫌じゃない?」とかそういうところから入ったり…子どもの夢中になるよう

なことが何となく想像できるようになってきて、こう言ったら食いつくだろうなということがわかった。

以上を、指導すべき保健科の教科内容および教授内容知識と捉え、③<健康に関する教科内容・教授内容知識>と整理した。

3-1-2 体育科における変容

体育科指導で身に付けた力量は、①<運動の教科内容・教授内容知識>②<技能レベルに応じた指導方略(教材・説明・助言)>③<行動の変容を促進するマネジメント>の3点に整理された。

T1: できないやつへの伝え方がわかった。

T2: このトレーニングがゲームにつながるかとかが考えられるようになった。

以上を、指導すべき運動内容の知識及び生徒の実態を理解した上での教授方法の知識と捉え、①<運動の教科内容・教授内容知識>②<技能レベルに応じた指導方略(教材・説明・助言)>と整理した。

T1: 女子で動かないのが出たりするのをどのように動かすとか、女子は結構人間関係があるのでチーム作りを考えたりとか…体育の決まりを徹底するところ

T2: 運動量も確保するなども考えるようになりました

T3: ローテーションしながら、場を何か所か作って…

以上を、学習規律の指導や実態を踏まえた統率・指示及び場の工夫や運動量の確保など、集団を動かす力・生徒一人一人を動かす力量と捉え、③<行動の変容を促すマネジメント>と整理した。

保健科では生徒の思考や理解を促進させるための指導方略を身に付けているのに対し、体育科では個人及び集団を動かす・活動させるといったマネジメントの力量を身に付けているといった違いがみられた。

3-2 教科指導力変容の影響要因

3-2-1 保健科指導変容の要因

保健科指導力への影響要因は①<教科書やワークシート>②<同僚・指導教員の指導方略>③<子どもの反応>の3点に整理された。

T1: 教科書に書いてあることを自分がちゃんと理解して子どもの質問に答えられるように下調べする。

T3: ホームページで神戸の先生が作った保健のワークシートがあるんですよ。質問の仕方とか枠の取り方とかイラストの使い方とかをまねしたり…指導書を見るようにしています。

以上を、教科書やワークシートといった資料を用いた教材研究と捉え、①<教科書やワークシート>と整理した。

T1: 同僚の先生に聞く。日本代表のコーチをやってる同僚の話し方などをよく見たりしました。

指導教官の先生がうまく発問して対話しながら授業を進めていたので、自分なりに取り入れて…

以上を、同僚の助言や指導教員の授業実践から学んだ指導方略と捉え、②<同僚・指導教員の指導方略>と整理した。

T1: 子供らの食いつきがよかった…自分どうこうじゃなく、子どもらが興味を持ってくれた感じがした

T3: 体育と違って保健は1時間前に立ってしゃべらなきゃいけないので最初は雑談から入ったんです。そこからこっちを向いて話を聞いてくれるようになり、子ども達の反応から学んできます。

以上を、子どもの反応理解及びそれらを活かしての子どもの反応予想・授業構想と捉え、③<子どもの反応>と整理した。

3-2-2 体育科指導変容の要因

体育科指導力への影響要因は①<同僚・他の体育教師の指導方略>②<教科書・モデル集>③<授業外で得た指導内容・指導技術>の3点に整理された。

T1: 指導担当の先生に授業を見とけと言われて、生徒の扱い方とか、勉強になりましたね。部活の先生とか体育の先生にこれできないんですけどって聞きました。

T2: 他校の先生のことを聞くとやるうって思います

以上を、同僚の観察や助言、他校の体育教師との交流から学んだ指導方略と捉え、①<同僚・他の体育教師の指導方略>と整理した。

T3: 体育実技の教科書とかモデル集とか…

体育モデル指導集の小学校中高学年ぐらいでやっている試合のやつがあって、これ面白そうだなって思ったので…子どものレベルに合わせた教材研究っていうか、いろんな資料とかを見えています。

以上を、教科書やモデル指導集を用いた教材研究と捉え、②<教科書・モデル集>と整理した。

T1: 担任や部活でもこういうのを伝えるのにこういう風に伝えるというのを考える

T2: 体育は実技指導講習会でやった卓球とかよかった。楽しみながら運動量も確保するなども考えるようになりました。

T3: やっぱ初任研、二年代研とか研究発表をまいて…

以上を、学級経営や部活動指導で得た指導技術、研修会などで学んだ指導内容と捉え、③<授業外で得た指導内容・指導技術>と整理した。

保健科では子どもの食いつきといった反応が影響しているのに対し、体育科では授業外で得た指導内容や指導技術が活かされているという点で相違がみられた。

4. 摘要

本研究の目的は、初任期における保健体育科指導力の変容とそれらに影響を及ぼす要因について明らかにすることであった。

教職歴3、4年目の保健体育教師3名を対象とし調査・分析を行ったところ力量の変容として保健科・体育科共に3点に整理され、保健科では生徒の思考や理解を促進させるための指導方略を身に付けているのに対し、体育科では個人及び集団を動かす・活動させるなどマネジメントの力量を身に付けているといった点で相違がみられた。また、力量形成の要因も保健科・体育科共に3点に整理され、保健科では子どもの反応が影響しているのに対し、体育科では授業外で得た指導内容や指導技術が授業づくり影響しているという点で相違がみられた。

今後は初任者の力量形成における躰きも調査内容に踏まえ、さらに対象者を増やし理論的飽和状態まで研究を継続したいと考える。

5. 文献

- 1) 吉崎静夫(1997)一人立ちへの道筋. 浅田匡ほか編, 成長する教師-教師学への誘い. 金子書房: 東京, pp. 162-173
- 2) 大谷尚(2007)4ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCAT の提案. 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要, 54(2): 27-44. 他